

《課題名》

トラスツズマブ治療後の乳癌組織内への免疫細胞浸潤の検討

《対象者》

2011年1月～2014年12月に滋賀医科大学にて術前化学療法後に乳癌手術を受けられた方のうち、乳がん組織やカルテデータを研究に供することに同意いただいた方

研究協力をお願い

当科では「トラスツズマブ治療後の乳癌組織内への免疫細胞浸潤の検討」という研究を行います。この研究は、2011年1月～2014年12月に滋賀医科大学にて術前化学療法後に乳癌手術を受けられた方の臨床情報を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただきず、この掲示などによるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名： トラスツズマブ治療後の乳癌組織内への免疫細胞浸潤の検討

研究期間： 倫理委員会承認日～2022年3月31日

実施責任者： 滋賀医科大学地域医療教育研究拠点（乳腺・一般外科） 梅田 朋子

(2) 研究の意義、目的について

《研究の意義、目的》

乳癌化学療法の治療効果に関連するといわれる免疫細胞浸潤について乳癌病理標本を用いて検討し、今後の乳癌治療に役立てます。

(3) 研究の方法について

《研究の方法》

2011年1月～2014年12月に手術を行い採取した乳癌組織にたいして免疫細胞の発現を免疫組織科学的に網羅的に検索し、トラスツズマブ使用の影響や転移の有無などの臨床病理学的指標との関連を明らかにします。

(4) 予測される結果（利益・不利益）について

参加頂いた場合の利益・不利益はありません。

(5) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人情報を直接同定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。

(6) 研究成果の公表について

この研究成果はHPや学会発表、学術雑誌などで公表します。

(7) 研究計画書の入手または閲覧

本研究の対象となる方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の試料を入手・閲覧することができます。

(8) 問い合わせ等の連絡先

滋賀医科大学 地域医療教育研究拠点（乳腺・一般外科） 梅田 朋子

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号： 077-548-2238

メールアドレス： tomoko@belle.shiga-med.ac.jp